

平成17年度 おやじの会の全国実態調査分析

お父さんたちのネットワーク

世話人 石垣政裕

I はじめに

「おやじの会というのはいったいどのくらい全国にあるのだろうか？」仙台市－宮城県とネットワークを広げてきた私たちにとっては当然のような疑問だった。どうも東京にはあるらしい。福岡や京都はネットワークができていられるらしい。しかし、実態はどうだろうか。前年度、前々年度の調査もそうだが、おやじの会の範囲を設定することは困難である。宮城県教育庁生涯学習課では、各都道府県の生涯学習部局の担当者が「おやじの会」あるいは「おやじの会のネットワーク」と認識をしている組織を調査し、その実態を明らかにするとともに

父親の家庭教育関連事業についての調査を行った。

調査は平成17年度父親の家庭教育参加促進事業の一環として行われ、お父さんたちのネットワークが協力した。本報告は、いわゆるおやじの会の組織のサイドからデータを読み返したものである。

II 調査方法

別紙の調査票を全国都道府県および政令指定都市の生涯学習関連部局に送付

FAXによる調査票の回収

調査期間 2005年10月10日－10月28日

III 調査結果

1. 全国おやじの会の数

本調査の結果、全国都道府県および政令指定都市の生涯学習課または社会教育関連部局（以下担当部局）が把握する「おやじの会」は2367団体である。このうち生涯学習課など担当部局がおやじの会の団体を把握している都道府県および政令指定都市が23、把握していないのが38であり、把握している都道府県および政令指定都市は4割に満たない。したがって、実際には2367という数を大きく超えた「おやじの会」が全国にあると思われる。

全国のおやじの会の現状

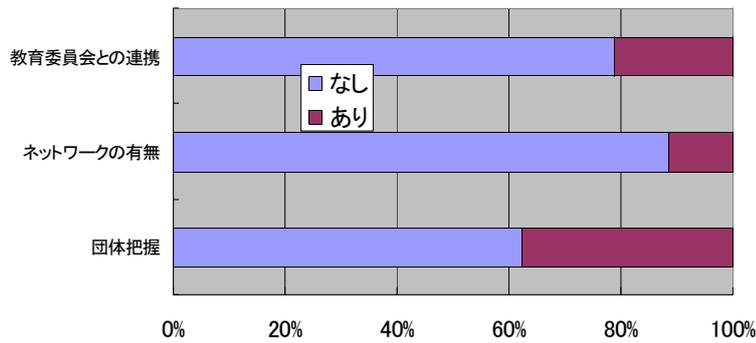


図1 全国のおやじの会の現状

図2には事業を実施している場合と実施していない場合とでおやじの会を把握に変化があるかどうか示した。事業を行っている場合の方が団体を把握している都道府県・政令指定都市が多い。

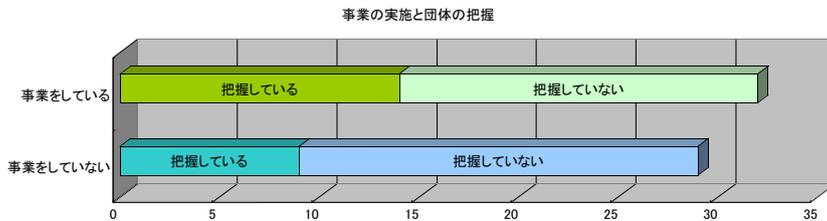


図2 事業の実施と団体の把握

図3には事業資金が国庫から得られている場合と都道府県・政令指定都市単独で実施している場合とに分けて団体の把握状況を調べたものだが、単独でやられている場合に

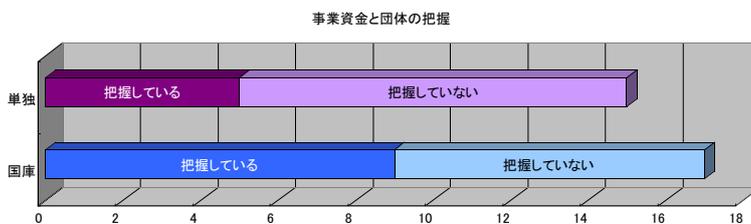


図3 事業資金と団体の把握

は、必ずしも団体を把握していない場合の割合が高いといえる。

国からの資金で行われる事業は、「家庭教育支援総合推進事業」が大きな割合を占めている。

地域におやじの会のネットワークがある都道府県・政令指定都市は7つあるが、京都府・京都市は京都「おやじの会」連絡会が、宮城県・仙台市は「お父さんたちのネットワーク」がカバーしているため実質的には5つと見ることができる。また、京都、鳥取、香川などは全国おやじサミット（第1回2003年香川、第3回2005年京都、第4回2006年鳥取）が開かれており、ネットワークの組織、拡大の契機となっているともいえる。

2. 各都道府県および政令指定都市における組織率

図4には生涯学習課など担当部局が団体を把握している都道府県および政令指定都市ごとのおやじの会の組織率を調べた。

$$\text{組織率 (\%)} = \frac{\text{おやじの会の団体数}}{\text{公立小中学校数}}$$

各都道府県および政令指定都市別に見れば、京都市、福岡市、仙台市などの政令指定都市で組織率が高く、それぞれ56.7%、45.5%、27.3%となっている。都道府県で組織率が高いのは鹿児島県が50.6%と他に抜きんでており、北海道、大分、沖縄がそれぞれ、31.9%、22.0%、20.7%と続いている。日本列島の南北の道県と背骨をつなぐように福岡市、京都市、仙台市の組織率が高い。このうち、京都市では2005年9月に「全国おやじサミット」が開かれ、おやじの会の組織化への弾みとなったともいえる。

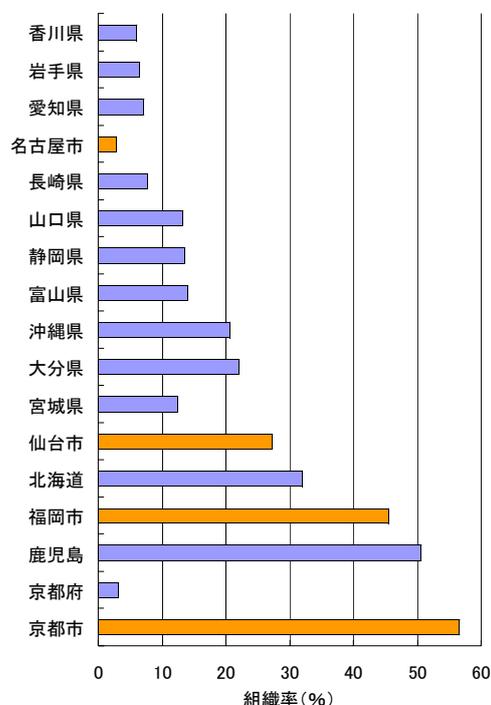


図4 おやじの会の組織率

しかし、京都府全域から見れば、おやじの会は京都市に多く見られるといえる。宮城県では仙台市と仙台市以外の地域での大きな差は見られない。愛県では名古屋市とそれ以外の地域での組織率を比較すると名古屋市以外の方が組織率が高い。このことから本組織率データの範囲では、必ずしも政令指定都市とそれを抱える都道府県の政令都市以外の地域との差は明確ではなかった。